

R7 甲東中 学校評価アンケート結果（生徒・保護者・教職員）

No.1 自治活動		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、学級や専門部などで、自分の意見を述べたり、責任ある活動ができたりしている。	3.03	3.10	3.16
保護者	お子さんは、学校での行事や活動について前向きな話をしたり、自分の役割や考えていることを伝える様子がある。	3.10	3.19	3.14
教職員	学校行事や生徒会・専門部活動等の支援を通して、生徒の自治的活動を促している。	3.00	3.19	3.09

No.2 個別最適な学習		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、授業の中で、自分に合った学び方で取り組むことができていると感じる。	3.26	3.17	3.28
保護者	お子さんは、授業で学んだことをもとに、自分に合った方法で家庭学習に取り組んでいる様子がある。	2.73	2.71	2.72
教職員	「確かな学力」の定着を図るため、授業改善や個別最適な学びと協同的な学びの工夫に取り組んでいる。	2.85	2.95	3.00

No.3 ICT活用		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、タブレットを使って、調べたりまとめたりしながら、自分の学びを深めている。	3.21	3.22	3.31
保護者	学校は、タブレットを効果的に活用できるような指導や環境づくりを行っていると感じる。	2.80	3.12	3.05
教職員	ICT機器や情報を活用し、指導法や教材に工夫を加えている。	2.90	3.00	2.96

No.4 道徳教育		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、道徳の授業で学んだことを、普段の生活で生かそうと思うことがある。	3.36	3.38	3.39
保護者	学校は、道徳心を養い、正しい行動について、自ら考えて実践できる力を育てていると感じる。	3.08	3.18	3.15
教職員	道徳の授業や学級経営において、道徳性の育成に努めている。	3.00	2.86	3.04

No.5 非認知能力・自己肯定感の育成		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、自分の気持ちをコントロールしたり、人と協力して行動したりしながら、自分のよさや頑張りに気づくことができている。	3.12	3.03	3.17
保護者	学校は、子どもの自己肯定感や、粘り強さ、協調性、調整力など内面的な力を伸ばす教育活動を行っていると感じる。	2.92	3.06	3.04
教職員	日々の授業や生活指導を通して、自己理解・自制心・協調性・自己肯定感などの非認知能力を育む指導に努めている。	3.00	3.00	3.09

No.6 基本的な生活習慣		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、あいさつや時間を守ることなど、生活習慣を意識して過ごしている。	3.23	3.26	3.31
保護者	学校は、基本的な生活習慣（あいさつや時間を守るなど）の定着を図る指導を行っていると感じる。	3.25	3.33	3.37
教職員	基本的な生活習慣（あいさつ、清掃、時間厳守等）の定着を図る指導が行えている。	3.30	3.14	3.04

No.7 発達支持的生徒指導		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、学校が安心して通える場所だと感じており、こまったときやつらいときに相談できる人がいる。	3.32	3.22	3.27
保護者	学校は、お子さんにとって安心して通える場所になっていると感じる。	3.26	3.28	3.29
教職員	不登校やいじめ等の課題に対し、発達段階を踏まえて、予防・早期発見・継続支援を含めた組織的かつ計画的な対応を行っている。	3.10	2.95	2.87

No.8 健康・安全		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、学校での話や活動を通して、健康や安全に気を付けようと思ったことがある。	3.49	3.49	3.46
保護者	学校は、健康や安全に関する意識を高める指導を行い、保護者にもその重要性を伝えていていると感じる。	3.11	3.21	3.21
教職員	健康や安全の意識を高めるため、保健指導や感染症予防、運動習慣の定着などに努めている。	3.20	2.95	3.04

No.9 保護者・地域連携		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、学校行事で地域の人と関わったり、地域行事に参加したりすることで、地域の人とのつながりを感じることがある。	2.89	2.81	2.82
保護者	学校は、学校行事や地域活動を通して、子どもたちと地域とのつながりを大切にしていると感じている。	2.94	3.13	3.17
教職員	保護者や地域との関わりを大切にし、信頼関係を築く対応ができている。	3.00	2.86	2.91

No.10 教職員研修・資質向上		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	甲東中学校は、先生方が私たちのために、学校生活や授業をよりよくしようとしていることが伝わってくる。	3.50	3.45	3.53
保護者	お子さんは、先生方の授業や日常の指導を通して、わかりやすさや学びやすさを感じている。	2.85	2.91	2.92
教職員	校内研修や校外研修への参加を通して、自身の資質向上に努めている。	3.15	2.86	3.04

No.11 業務改善		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	甲東中学校では、先生方が一人ひとりと向き合ってくれていると感じている。	3.40	3.36	3.37
保護者	先生方は、一人ひとりの子どもたちと向き合い、丁寧な支援を行っていると感じる。	3.05	3.10	3.19
教職員	業務の効率化に努め、生徒としっかり向き合う時間を確保できるよう工夫している。	2.90	2.76	2.83

No.12 目指す生徒像の実践		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は自分の考えで行動し（自主）、友だちと助け合い（友愛）、あきらめずに努力し（鍛錬）、係の仕事や清掃など（勤労）にしっかり取り組んでいる。	3.27	3.34	3.32
保護者	お子さんは、自分の考えで行動し、友だちを思いやり、あきらめずに努力しながら、勉強や家の手伝いに取り組んでいる。	3.00	3.10	3.05
教職員	めざす生徒像「自主・友愛・鍛錬・勤労」に向けた教育実践に取り組んでいる。	2.95	2.86	2.83

No.13 人権教育		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	私は、人の気持ちや人権について考えながら学校生活が送れている。	3.35	3.36	3.40
保護者	お子さんは、人の気持ちを考えながら、思いやりのある行動ができているように感じる。	3.27	3.30	3.26
教職員	教育活動全体を通して「心の教育」「人権教育」に取り組んでいる。	3.10	3.00	2.96

No.14 学校教育目標の実践		平均値		
		1学期	2学期	3学期
生徒	甲東中学校は、自分にとって誇りに思える学校である。	3.37	3.40	3.46
保護者	「甲東中に通えてよかった」と子どもたちが思えるような教育活動を行っていると感じる。	3.02	3.04	3.19
教職員	教育目標「甲東中 誇りを持てる わが母校」を意識した教育実践に取り組んでいる。	3.00	2.95	3.09

No.15 職員厚生・服務規律の取組		平均値		
		1学期	2学期	3学期
教職員	教職員間の連携・協力やコミュニケーションを大切に、働きやすい職場づくりに努めている。	3.25	3.00	3.18

# 令和7年度 学校評価分析

## 1 成果

### (1) 自治活動の充実

生徒評価は 3.03 → 3.16 と向上しており、生徒会活動や学校行事を通して主体的に活動する意識が高まりつつある。

### (2) 健康・安全指導

生徒評価は 3.49 → 3.46 と高い水準で推移しており、保健指導や安全教育等の取組が一定の成果を上げている。

### (3) 道徳教育・非認知能力の育成

思いやりや協力する姿勢などの育成が図られ、概ね 3.0 以上の評価となっている。

### (4) 保護者からの信頼

保護者自由記述では、丁寧な対応や不登校生徒への支援などに対する感謝の声が多く見られた。

## 2 課題

### (1) 個別最適な学びと学力定着

保護者評価が 2.7 台と低く、授業についていけない生徒への対応や家庭学習の定着が課題。

### (2) ICT 活用

評価は約 3.0 で横ばい。授業での活用方法や教職員間の活用スキル差が課題。

### (3) 基本的生活習慣

あいさつ、時間意識、授業開始への切り替えなどの生活習慣の定着に課題。

### (4) 不登校への対応

完全不登校の生徒への対応の難しさが、継続的支援体制の強化が必要。

### (5) 業務改善

教職員評価は 2.90 → 2.83 と低下しており、働き方改革や業務の効率化が課題。

## 3 今後の具体策

- ・ 帯学習や小テストによる基礎学力の定着
- ・ ICT 活用事例の共有や校内ミニ研修の実施
- ・ 生徒会活動の見える化と主体的活動の推進
- ・ あいさつ運動など生活習慣の改善
- ・ SC 等と連携した不登校支援の充実